

ID-Link 名寄せ機能を用いた施設内・施設間患者 ID 統合

○七種伸行（サイクサ ノブユキ）¹⁾，佐野弘子²⁾，蜂谷明雄³⁾，外尾和之⁴⁾，高山一成⁴⁾

1) 久留米大学医学部附属病院 医療情報センター/医療連携センター，2) 特定非営利法人 天かける，
3) 医療情報システム開発センター，4) 日本電気株式会社

【はじめに】

福岡県久留米二次医療圏では，くるめ診療情報ネットワーク協議会（アザレアネット）を久留米市および浮羽，大川三瀧，小郡，久留米の各医師会が運営している．アザレアネットは ID-Link 基盤で構築され，開示側は 4 法人 7 施設，閲覧側は 105 施設（病院 18，診療所 70，その他 17）である．

学校法人久留米大学は同医療圏内に 1018 床の医学部附属病院（当院）と 250 床の医療センター（分院）を保有し，2020 年 9 月の病院情報システム更新で 1 サーバー・1 システムの電子カルテ（NEC MegaOakHR）共同利用を開始した．これに伴い，分院が新たに開示施設となる．患者 ID も統合対象であるが，他院では断念された事例が少なくない．複数 ID が同一人物のもの（重複 ID）と機械判定出来れば一括処理可能だが，それ以外は病院職員による大量の目視確認業務が発生するためである．

今回我々は協議会の了承下に患者属性情報全件アップロードを行い，ID-Link 名寄せ機能（本法）を用いた施設内・施設間患者 ID 統合を経験したので報告する．

【目的と方法】

当院と分院における，従来法と本法を以下の 4 項目で比較した．

- 1) 保有 ID 数
- 2) 重複 ID の機械的判定手法
- 3) 当院施設内における重複 ID 件数
- 4) 分院施設内における重複 ID 件数

【結果】

1) 保有 ID 数は当院 756,694 件，分院 147,420 件であった．

2) 重複 ID の判定手法は

従来法：カナ氏名，漢字氏名，性別，生年月日，郵便番号が全て一致する場合のみ．

本法：カナ氏名，漢字氏名，性別，生年月日から判定された類似度（37～100%）に基づきカットオフ値を決定．

3) 従来法では 1,230 件，本法では類似度 100%が 1,008 件，90%以上が計 1,590 件であった．

4) 従来法では 31 件，本法では類似度 100%が 4 件，90%以上が計 19 件であった．

【考察と結語】

本法は濁点の有無や常用/非常用漢字等の表記の揺らぎを考慮した判定であり，類似度 100%でも従来法と完全には一致しなかった．追加のサンプリング調査では類似度 90%以上では疑義が生じた例は殆ど無く，60%台であっても病歴等から確実に重複 ID と判断できた例があり，十分な判定精度を有すると考えられた．急性期病院では救急搬送等で身元確認困難な状況下での重複 ID 発行が不可避であるが，本法はこれらの定期的・継続的メンテナンス手法としての有用性が期待される．

また，当院は年度途中のシステム更新となったため，DPC データ集計等への影響を考慮し稼動時点では施設内の重複 ID 統合のみとした．来年度初頭に施設間 ID 統合及び共通診察券発行を予定しているが，本法は 7 万件を超える大規模 ID 統合においても有効であると考えられる．